

市原市八幡・市川本店文書

A 228

市川石三

昭和 6 年～12 年

八幡町雑記入り諸工事見積

新田川ハメ仕事記入

平成後期調査

市原の古文書研究会



新田川ハメ仕事

新田川ハメ仕事

竹松堰羽目新規見積り

三人 掘り揚げに付き小作人手伝い
 十五人 据え付け流し張り袖の
 欄高三日と見たるもの
 二人 手直し等の見込み
 二十人 内親方四人 仕手十六人
 賃六・〇
 賃十六円

この賃二十二円なり
 一男柱二本、松六寸角長さ九尺 六・〇〇
 一中柱、四五角松、六尺もの一本 一・〇〇
 一ステ、六寸角松、八尺もの一本(一式) 二・六五
 一笠木、杉七寸巾、厚さ三寸五分、長さ一丈一本 三・〇〇
 一流し、巾七尺、長二間松正八分二坪半 五・五〇
 一流し両袖欄、松正八分高四尺、延べ四間、二坪八分 六・一六
 一上手欄、高さ四尺、延べ二間、一坪半 三・三〇

諸工事見積り記入

昭和六年四月記
 雑記入見積り書写し
 新田川ハメ仕事記入

昭和六年(1931)川市川本店文書A2228
 諸工事見積り写し(市川石工)

①竹松堰羽目新規見積り(昭和6年)

掘り揚げに付き小作人手伝い
 三人
 据え付け流し張り袖の欄高三日と見たるもの
 十五人
 手直し等の見込み
 二人
 内親方四人
 仕手十六人
 賃六・〇
 賃十六円

この賃二十二円なり

一男柱二本、松六寸角長さ九尺 六・〇〇
 一中柱、四五角松、六尺もの一本 一・〇〇
 一ステ、六寸角松、八尺もの一本(一式) 二・六五
 一笠木、杉七寸巾、厚さ三寸五分、長さ一丈一本 三・〇〇
 一流し、巾七尺、長二間松正八分二坪半 五・五〇
 一流し両袖欄、松正八分高四尺、延べ四間、二坪八分 六・一六
 一上手欄、高さ四尺、延べ二間、一坪半 三・三〇

②表題なし(うなぎ留II昭和6年ころ)

一鰻留二た通り、中央延べ二間、深さ四尺、下深さ四尺、延べ七尺 四・四〇
 一か所 松正八分、二坪 四・二〇
 一流し桁杉三寸角、一丈六本 五・五〇
 一杉八尺杭二(寸)五分、三寸六分 二十二本 一・二〇
 一下りスタ四寸五分角、杉八尺一本 七・〇〇
 材料これまで四三・一一
 一船大工手四人、釘代一円 七・〇〇
 合計金七十二円十一銭、外七円八十九銭予備費
 内六円予備費より支出分、予備費一円八十九銭余り
 (図面省略II図中文字)

予備費より支出欄および杭代
 ネバ詰め

予備費より支出欄杭代
 この受け負い代金八十円なり

区費より四十円、地主割合四十円、これは東やより受け取り
 たる由にて区長渡辺持参せられたり

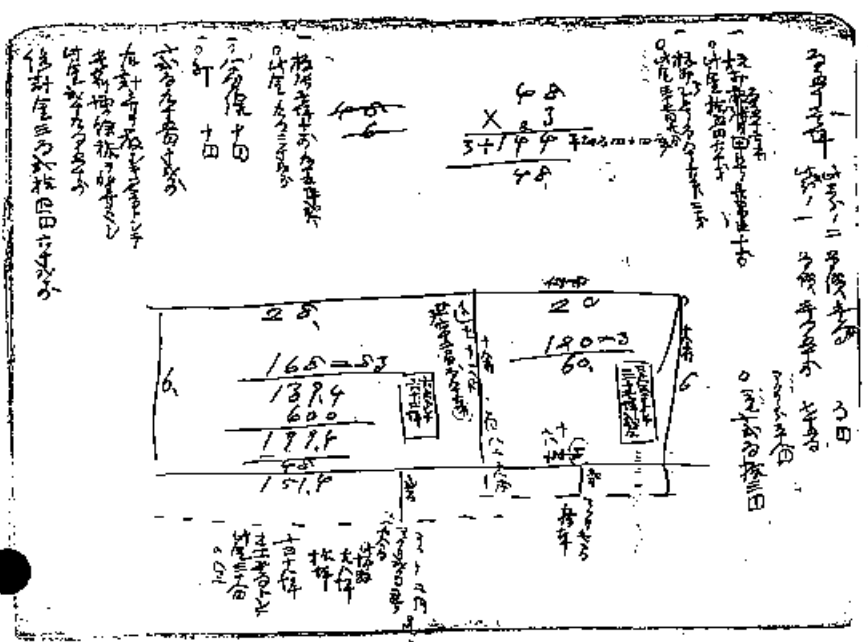
五月十六日 源蔵に相渡す、ただし二十円五郎兵衛、五円〇〇
 十六日渡す 外に酒一升遣わす

一八十五銭 同人渡す、山木釘代、針金カスガ工代
 十六日六円なり 舟大工手間四人渡す



鰻留二た通り 四四〇
 一か所 松正八分 四二〇
 一流し桁杉三寸角 一丈六本 五五〇
 一杉八尺杭二(寸)五分 三寸六分 二十二本 一二〇
 一下りスタ四寸五分角 杉八尺一本 七〇〇
 材料これまで四三・一一
 一船大工手四人 釘代一円 七〇〇
 合計金七十二円十一銭 外七円八十九銭予備費
 内六円予備費より支出分 予備費一円八十九銭余り
 (図面省略II図中文字)

予備費より支出欄および杭代
 ネバ詰め
 予備費より支出欄杭代
 この受け負い代金八十円なり
 区費より四十円、地主割合四十円、これは東やより受け取り
 たる由にて区長渡辺持参せられたり
 五月十六日 源蔵に相渡す、ただし二十円五郎兵衛、五円〇〇
 十六日渡す 外に酒一升遣わす
 一八十五銭 同人渡す、山木釘代、針金カスガ工代
 十六日六円なり 舟大工手間四人渡す



③ブル設計 (昭和6年)

一 延べ長さ百メートル、五十五間、幅三十尺、深さ三尺
ただし柵は根入りを要するにつき四尺とすべし

一 柵板、松正八分板百八十八坪七分 二二替え 二六一・一四

一 杭十尺、松末三五分二百十二本 四円替え、三十八銭

一 松杭六尺末三寸 百六十五本 三円五十銭、十六銭 八〇・五六

一 松二間、二五分、五寸フセ 六十種 十円替え一円二十五銭 二六・四〇

一 釘正二寸五分二十目 (匁) 七五・〇〇

一 掘り上げ運搬百八十五坪 一三・〇〇

一 掘り上げ運搬百八十五坪 一八五・〇〇

一 杭打ち込み板張り手間 六尺十銭、十尺二十銭、張り手間坪十銭 七〇・七七

一 井戸 (合計) 七一・八七

一〇〇〇

七〇・七七

八〇・五六

二六・四〇

七五・〇〇

一三・〇〇

一八五・〇〇

七〇・七七

七一・八七

一〇〇〇

七十五円

百円

この三分の一、単価一円五十銭

マクリ分三十八円

三口ノ二百十六円

この金九十九円六十銭

この金五十四円六十銭

杭打ち百五十六本、甲号十銭

杭打ち乙号 百八十六本、二十銭

この金三十七円二十銭

板張り一坪十銭、九十三坪二分

この金九百三十銭

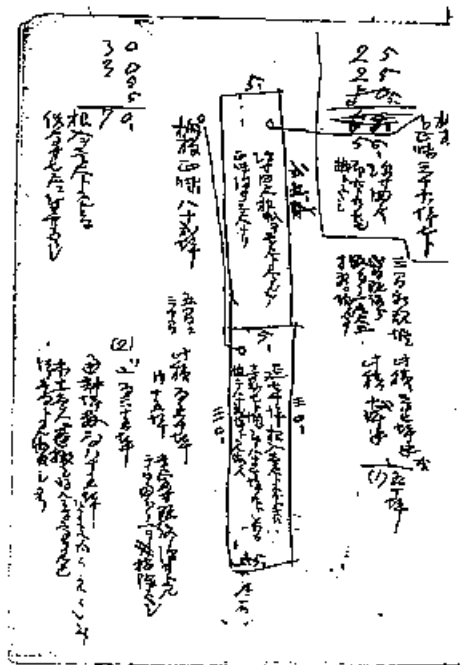
一八番線十円

一釘十円

ノ二百九十五円十二銭

右計算を厳しき見方として一割増余裕を加算すべし。

25	20
165=53	140=30
137.4	60.0
60.0	
177.4	
60.0	
151.4	



六等角三味味...
米梅...
杭打ち...
板張り...
...

この金二十九円五十銭
総計金三百二十四円六十二銭
(図面省略 図中文字)

六十尺、十八尺、一間、二間
三尺五寸として三十一坪二合
延べ六十二間百八十六本
マクリ一間、十坪
マクリ二間通り、二十八間この坪数二十八坪、十坪
ノ三十八坪
出土一円としてこの金三十八円

深さ四尺、すなわち六分六厘六毛掛けとすべし
三間新規掘り、二間既設分、四分の一五寸さらに掘ること
この積三十七坪半、この積十二坪半、二口ノ五十坪 (1)
杭木正味三十六坪七分
深さ四尺根入を一尺と見たるもの、正味深さ三尺なり
延べ七十坪根入一尺とするときは一割七分増し、すなわち八十坪九分となる
柵板正味八十一坪、五間、三十間
この積百五十坪、内十五坪、一尺五寸既設の深さとみてすなわち四分の一を除外すべし
同ノ百三十五坪

(2) 通計坪数百八十五坪
出土一人に運搬を任せるにつき高く見込み
坪一円と見なしたり根入れを一尺とするため総高さ七尺に計算すべし

④ 表題なし (材料 昭和6年)
六年四月十二日 電話にて 〇〇左のとおり。
一米梅 四時 〇 無() 席、上小、尺十 一八・〇

一 土台、赤松四寸角	一	一・六〇	一・六〇
一 柱杉、八尺五寸三五角	三	八五	二・五五
一 母屋棟木束とも杉十三尺三寸	一	八〇	八〇
一 たる木、杉九尺二寸角	六	二〇	一・二〇
一 通し横広小前、屋根用杉二間大横	八	一八	一・二四
一 窓敷居、松六尺ならび	二	四五	九〇
一 同七尺	一	五〇	五〇
一 腰羽目板、下見とも杉四分、上升四坪	一	〇五	四・二〇
一 床板、松六分 四枚半	二	二〇	九〇
一 根太、杉三尺五寸 一寸八分各八	一	一五	一・二〇
一 地引き、杉一尺三寸	一	八〇	八〇
一 亜鉛板、三〇八尺	二	八五	一・七〇
一 同平板、三番三六	一	七五	七五
一 切石、大谷八寸角	三	二〇	六〇
一 左官手間、半人	一	七〇	七〇
一 アキ残、半人	一	七〇	七〇
一 大工手間、七人	一	五〇	一〇・五〇
一 窓硝子、障子 高丸形三尺七寸、横幅三尺三枚	一	五〇	五〇
一 三十七尺六十四銭		二・一〇	六・三〇

三十七尺六十四銭
 一 土台、赤松四寸角
 一 柱杉、八尺五寸三五角
 一 母屋棟木束とも杉十三尺三寸
 一 たる木、杉九尺二寸角
 一 通し横広小前、屋根用杉二間大横
 一 窓敷居、松六尺ならび
 一 同七尺
 一 腰羽目板、下見とも杉四分、上升四坪
 一 床板、松六分 四枚半
 一 根太、杉三尺五寸 一寸八分各八
 一 地引き、杉一尺三寸
 一 亜鉛板、三〇八尺
 一 同平板、三番三六
 一 切石、大谷八寸角
 一 左官手間、半人
 一 アキ残、半人
 一 大工手間、七人
 一 窓硝子、障子 高丸形三尺七寸、横幅三尺三枚
 一 三十七尺六十四銭

一 土台、赤松四寸角	一	一・六〇	一・六〇
一 柱杉、八尺五寸三五角	三	八五	二・五五
一 母屋棟木束とも杉十三尺三寸	一	八〇	八〇
一 たる木、杉九尺二寸角	六	二〇	一・二〇
一 通し横広小前、屋根用杉二間大横	八	一八	一・二四
一 窓敷居、松六尺ならび	二	四五	九〇
一 同七尺	一	五〇	五〇
一 腰羽目板、下見とも杉四分、上升四坪	一	〇五	四・二〇
一 床板、松六分 四枚半	二	二〇	九〇
一 根太、杉三尺五寸 一寸八分各八	一	一五	一・二〇
一 地引き、杉一尺三寸	一	八〇	八〇
一 亜鉛板、三〇八尺	二	八五	一・七〇
一 同平板、三番三六	一	七五	七五
一 切石、大谷八寸角	三	二〇	六〇
一 左官手間、半人	一	七〇	七〇
一 アキ残、半人	一	七〇	七〇
一 大工手間、七人	一	五〇	一〇・五〇
一 窓硝子、障子 高丸形三尺七寸、横幅三尺三枚	一	五〇	五〇
一 三十七尺六十四銭		二・一〇	六・三〇

八幡神社鳥居先水門 (昭和7年)
 ハメ受け負い控え、土方源蔵と口七五三
 受け負い金十円なり
 一 松五寸角、長さ五尺二本 代六円
 一 笠木、一本 代一元
 一 鰻留め板、松立て坪 (二尺ものにて) 代二元
 一 流し半坪 代一元
 一 ハメ板 代五十銭
 手間土方四人 代四円くらい
 船大工 代二円くらい
 一 流しの下三尺ものにて二間一坪 代二元
 一流しの両側と水下留め尺口七分 代口口四十銭
 一 四尺杭、十二本 一元
 一 六尺、十二本 一元八十銭
 一 ステ六寸角 二元

土俵二十〇〇縄付き、
 人夫五人、深代三人、山木二人、これより先へ出す
 七年八月四日新田のハメ破壊につき改修工事を源蔵に申し付け
 たり。
 ただし来る八月三日川倉倉吉をもって各地主へ右の由を話
 させ、同意を得る事とし、また前々工事につき割賦金を右
 方へなすべきところ調べ、未済につき追って明細書をもつ
 て分納金右を回付すべきことをも伝達せしめたり
 八月四日

一 土台、赤松四寸角	一	一・六〇	一・六〇
一 柱杉、八尺五寸三五角	三	八五	二・五五
一 母屋棟木束とも杉十三尺三寸	一	八〇	八〇
一 たる木、杉九尺二寸角	六	二〇	一・二〇
一 通し横広小前、屋根用杉二間大横	八	一八	一・二四
一 窓敷居、松六尺ならび	二	四五	九〇
一 同七尺	一	五〇	五〇
一 腰羽目板、下見とも杉四分、上升四坪	一	〇五	四・二〇
一 床板、松六分 四枚半	二	二〇	九〇
一 根太、杉三尺五寸 一寸八分各八	一	一五	一・二〇
一 地引き、杉一尺三寸	一	八〇	八〇
一 亜鉛板、三〇八尺	二	八五	一・七〇
一 同平板、三番三六	一	七五	七五
一 切石、大谷八寸角	三	二〇	六〇
一 左官手間、半人	一	七〇	七〇
一 アキ残、半人	一	七〇	七〇
一 大工手間、七人	一	五〇	一〇・五〇
一 窓硝子、障子 高丸形三尺七寸、横幅三尺三枚	一	五〇	五〇
一 三十七尺六十四銭		二・一〇	六・三〇

前受け負い中見積もり材料と手間十七円〇六銭
 二口〇五十四円七十銭
 このところ前請負分代金中入れとす。
 内十七円〇六銭
 総〇三十七円六十四銭 大塚芳社中
 〇六年八月十六日

荒川為太夫
 ニューム釜相場
 〇六年六月二十九日回答
 (アルミ釜寸法省略)

一 土台、赤松四寸角	一	一・六〇	一・六〇
一 柱杉、八尺五寸三五角	三	八五	二・五五
一 母屋棟木束とも杉十三尺三寸	一	八〇	八〇
一 たる木、杉九尺二寸角	六	二〇	一・二〇
一 通し横広小前、屋根用杉二間大横	八	一八	一・二四
一 窓敷居、松六尺ならび	二	四五	九〇
一 同七尺	一	五〇	五〇
一 腰羽目板、下見とも杉四分、上升四坪	一	〇五	四・二〇
一 床板、松六分 四枚半	二	二〇	九〇
一 根太、杉三尺五寸 一寸八分各八	一	一五	一・二〇
一 地引き、杉一尺三寸	一	八〇	八〇
一 亜鉛板、三〇八尺	二	八五	一・七〇
一 同平板、三番三六	一	七五	七五
一 切石、大谷八寸角	三	二〇	六〇
一 左官手間、半人	一	七〇	七〇
一 アキ残、半人	一	七〇	七〇
一 大工手間、七人	一	五〇	一〇・五〇
一 窓硝子、障子 高丸形三尺七寸、横幅三尺三枚	一	五〇	五〇
一 三十七尺六十四銭		二・一〇	六・三〇

七年八月三日堀羽目修繕より、堀羽目修繕
各段に、堀羽目修繕より、堀羽目修繕
各段に、堀羽目修繕より、堀羽目修繕
各段に、堀羽目修繕より、堀羽目修繕
各段に、堀羽目修繕より、堀羽目修繕

八月四日
一 飯留め付き土俵、二十俵 代一円
一人夫六人、源蔵方より四人、この賃三円七十銭、源蔵一円、別人
夫九十銭、山木口住人夫二人、六十銭宛、この賃一円二十
銭渡す

八月五日
一 杉ウラ板一間もの一坪 代一円八十銭
一 正二寸五分釘、五百目 代三十銭
一 松ドブ正七分、半坪 代九十銭
一 杉九尺杭、二本、末三五 代六十六銭
五十六円三十六銭、八月九日市川本店払い
代五十銭
一 口俵十俵 代五十銭
一 松ドブ正七分板、一間もの四尺 代一円二十銭
一 六人、二人山木この賃一円二十銭、四人源蔵側の賃三円七十銭
一 四人、源蔵外三人 此の賃三円七十銭
一 七人、源蔵外二人 此の賃二円八十銭
一 六寸カスカエ二口の代四十銭、福島より源蔵にて買い受く由
源蔵分、十四円四十銭相渡す
八月九日
一 亜鉛針金十銭 右同上

九月九日
一 一円八十銭 作事方二人
一 一円なり 源蔵一人
十日
一 一円八十銭 作事方二人
一 一円なり 源蔵一人
十二日
一 五十銭なり 源蔵半人
一 四十五銭 作事方半人
計、六円五十五銭なり、六月十二日支払い
松八分五寸、長さ九尺もの三丁
松六尺、
釘および粘土

九月六日
一 一円十銭 山本払い、針金代一貫六百匁
六月三十日支払い
九月七月中（九年八月十五日払い）
一 九十銭 土方手間一人新田川ハメ南側修繕手間賃
八月十五日払い
一 二円八十銭、
九年八月五日仕事、同人払い
北側破損修繕のため、
源蔵一人一円、外二人一円八十銭

九月六月九日
一 一円八十銭 作事方二人
一 一円なり 源蔵一人
十日
一 一円八十銭 作事方二人
一 一円なり 源蔵一人
十二日
一 五十銭なり 源蔵半人
一 四十五銭 作事方半人
計、六円五十五銭なり、六月十二日支払い
松八分五寸、長さ九尺もの三丁
松六尺、
釘および粘土
九月七月中（九年八月十五日払い）
一 九十銭 土方手間一人新田川ハメ南側修繕手間賃
八月十五日払い
一 二円八十銭、
九年八月五日仕事、同人払い
北側破損修繕のため、
源蔵一人一円、外二人一円八十銭
一 三円七十銭口口事

⑧ 新田川ハメ修繕仕事 (昭和9年)
 九月五日 源蔵一人一円なり、手下半人四十銭、一円五十銭相渡
 一 一人半、源蔵外一人にて五月二十七日
 一 松八分板半坪、これは麻部より来る源二使いに行き自転にて持ち
 来る
 一 釘代若干

⑨ ハメ修繕 (昭和9年)
 九年六月六日 修繕南側袖より流れの方へ抜けて口出、本土一坪く
 らい流失せられたり
 六月六日
 一 松八分板一間物一坪 麻部より五所新田月の輪用として八
 分と一寸にて三坪来たりたるもの内地坪一円二十銭替え
 代金一円二十銭
 " 一 杉八尺杭五本、内在る分、坪一円二十銭替え
 代七十五銭
 " 一 金六円五十銭 源蔵一人一円外六人九十銭出す
 この賃五円四十銭、外一人に□□十銭、□手前遣わす、
 五寸釘代および八番線代
 この外助人足十人ばかり来る、土運搬なり。

昭和十二年六月二十六日
 一 ハメ切り小作人全部土俵一人前持参、切り助人夫
 およそ三十人くらい出でたる由、午後早仕舞いになしたり
 六月二十六日
 一 一人 土方源蔵、見回り役に頼みたり
 " 二十六日
 一 二分五厘 堅七五三、午後ハメ仕事にかかりたる由午後
 二時くらい負傷して休み
 " 二十七日
 一 半人 堅七五三、午後より中柱を抜く建てこみをな
 したり
 六月二十七日材料
 一 松六尺、四五、四〇角、二本
 " 二十六日
 一 松ドブ一間、延べ尺三尺 流しに張り不足分
 " 二十七日
 一 松四尺六寸、正一寸厚さ延べ ハメ板不足分
 一 杉口木二間半一挺 海苔取り船用胴割り
 幅一枚柵板をはがしたるもの来る、四寸強く
 らい
 " 二十六日分 末で四寸強くらい、切り用
 一 釘 切り用流し張り
 " 二十七日
 一 釘

十二年九月中

堰羽目の笠木等を取り毀ち、羽目板を流したる等不法の働きを
 なしたるものあり、折からの高潮にて新田へ潮入りたる由にて
 淡水を入れる必要あるとみて修繕をなしたり。
 一 松正一寸羽目板長さ四尺、幅六尺
 一 釘
 一 船大工手間一人 一人にて出来せざる山木せざるや